

日本行動計量学会第 20 回大会日程表

A会場 (W242)

B会場 (W343)

C会場 (W341)

D会場 (W331)

9月21日

12:00	受付			
13:30	セッション I 統計 (1)	セッション II 生活・教育	セッション III 心理	セッション IV 社会
16:30				

9月22日

9:30	シンポジウム I (W241) 大学評価と大学改革		シンポジウム II (百年記念館) パラダイムが変わりつつある計画行政の効果をどう計測するのか	
12:00	昼食			
13:30	特別セッション 1 あいまいな思考, 判断 とファジイ	特別セッション 2 多元データの分析モデル	特別セッション 3 交通行動の解明 1 -交通現象分析-	特別セッション 4 行動計量学の普及と 教育
16:00				
16:00 ~ 17:00	総会 (W241)			
17:30 ~ 19:30	懇親会 (百年記念館)			

9月23日

9:30	特別セッション 5 ファジイデータ解析	特別セッション 6 コンピュータを用いた 授業展開とその評価	特別セッション 7 交通行動の解明 2 -交通行動の調査・ 分析技法-	特別セッション 8 家族をめぐる意識と 行動
12:00	昼食			
13:30	セッション V 統計 (2)	特別セッション 9 緩和医学と行動計量 学の接点	特別セッション 10 教育データの 構造分析	
16:30				

* 大会期間中, W342 室にて書籍とコンピュータの展示があります。ご利用下さい。

** 本シンポジウムは一般に公開されます。シンポジウム会場は, 大会プログラムでお知らせした場所から変更になりましたので御注意下さい。

セッション I
統計(1)

13:30-16:30 A会場

- 座長 北海道大学文学部 大津起夫
大学入試センター 柳井晴夫
- I-1 回帰樹木とモデル構築の連結について
塩野義解析センター ○渡辺秀章
塩野義解析センター 松原義弘
塩野義解析センター 後藤昌司
- I-2 統計グラフィックのSome Rotation Method
岡山大学教養部 脇本和昌
- I-3 尺度混在データのための非線形主成分分析法
北海道大学文学部 大津起夫
- I-4 ある尺度法(SM)の統計的性質について
東京理科大学 野田一雄
統計数理研究所 村上征勝
東京理科大学 宮岡悦良
東京情報サポートセンター ○三野大来
- I-5 線形2群判別分析の群所属確率・区間推定法(II)
駿河台学園開発推進部 岸清武
- I-6 偏正準相関係数に関する同値表現について
大学入試センター研究開発部 柳井晴夫
- I-7 正準相関分析における母数の安定な推定について
東京工業大学理工学研究科 ○黒河久
東京工業大学工学部 繁樹算男
- I-8 コウホート分析におけるモデル選択
一ベイズ型コウホートモデル(XII)-
統計数理研究所 中村隆

セッション II
生活・教育

13:30-16:30 B会場

- 座長 早稲田大学政治経済学部 山下元
東北大学教養部 木谷忍
- II-1 ファジィグラフを応用した教材分析(IV)
目黒高校 ○勝又保雄
国学院高校 津田栄
川村女子大学 西村和子
早稲田大学 山下元

- II-2 LISRELを適用した都市空間の評価分析
 東京工業大学工学部
 東京工業大学工学部
 東京工業大学工学部
 ○ 屋井鉄雄
 岩倉成志
 小林幹人
- II-3 情報科学教育における学生の課題に対する反応
 札幌学院大学社会情報学部
 斉藤たつき
- II-4 地理情報を用いた教育情報の分析
 統計数理研究所
 馬場康維
- II-5 大学生の学習意識・行動とその規定要因に関する研究
 東北大学教養部
 木谷忍
- II-6 生活習慣尺度と生理学的検査値の関係について
 統計数理研究所
 文教大学教育学部
 文教大学教育学部
 聖路加看護大学
 帝京大学医学部
 ○ 高木廣文
 金子俊
 佐伯圭一郎
 日野原重孝
 道場信孝
- II-7 生活時間からみたライフスタイルの変容(その1)
 -週休2日制と夫婦の生活変化-
 東京工業大学工学部
 東京工業大学工学部
 ○ 加藤毅
 矢野眞和
- II-8 生活時間からみたライフスタイルの変容(その2)
 -時間配分からみた「生活の質」の変化-
 広島大学教育学部
 東京工業大学工学部
 ○ 平田道憲
 矢野眞和

セッションⅢ
 心理

13:30-16:30 C会場

- 座長 北海学園大学工学研究科
 筑波大学臨床医学系
 山ノ井高洋
 久保武士
- III-1 多母集団モデルによる性格検査尺度の因子比較
 早稲田大学文学部
 前田忠彦
- III-2 一対比較を用いた選好判断における
 評価規準と対象間の差の認知について
 京都大学文学研究科
 牧野圭子
- III-3 目撃者証言による顔画像のキーワード検索
 科学警察研究所
 科学警察研究所
 科学警察研究所
 ○ 足立浩平
 渡辺昭一
 鈴木昭弘
- III-4 自動車操縦時のドライバーの視覚
 北海学園大学工学研究科
 北海学園大学工学研究科
 松下電器産業(株)
 情報通信東京研究所
 ○ 山ノ井高洋
 高柳浩
 小山隆正

発展」を求めて方々へ経済活動の転換をよしとす。日本だけはその経済
 現用して「持続可能な行政」を「豊かさ」を「生活」を「大実感」を「経
 活のす経」の道をここに等換し、許活地球を資源な転換環境負荷を軽減
 計画な行政ならぬ。ム・シフトを多面的に推進するはそれの適した資源配分
 がなれれば、インフラを基礎として、政策を立し、計測、ならが行政の課題に
 必要は、学術的ないで、か？

企画者
司会

東京工業大学工学部
東北大学文学部

熊田 禎宣
海野 道郎

話題提供

- S II - 1 財源の調達と配分のパラダイムを変えられるか
大蔵省主計局 岸本周平
- S II - 2 住宅政策のパラダイムの変換とその効果
建設省大臣官房 真鍋友一
- S II - 3 産業政策のパラダイムの変換とその効果
通産省通産研究所 宮本武史
- S II - 4 住宅政策の効果をどう計測し、何に使うのか
上智大学経済学部 岩田規久男
- S II - 5 産業政策の効果をどう計測し、何に使うのか
国立環境研究所 森田恒幸

第2日午後

9月22日(火)

特別セッション1

13:30-16:00 A会場

あいまいな思考、判断とファジィ

人間の思考や判断の過程には様々なあいまいさが存在する。言語表現やぼけた画像など与えられる情報のもつあいまいさ、与えられた情報に対する認識におけるあいまいさ、既存の知識や意識のあいまいさ、内的情報処理過程における情報変換、情報統合などの処理様式の柔軟さ、あいまいさは本質的にファジィ性を有すると考えられる。本セッションでは、人間の医療診断、リスク判断、類似性判断、評価判断、概念認識を通してこうしたあいまいさに対するファジィ論的アプローチについて議論したい。

企画・座長

製品科学研究所

中村和男

1-1 医療診断とファジィ

川崎医科大学数学教室

有田清三郎

- 1-2 リスク判断とファジィ
- 情報統合様式が判断のバイアスに及ぼす効果-
筑波大学社会学系 ○竹村和久
筑波大学社会学系 松田紀之
- 1-3 類似性とファジー理論
早稲田大学教育学部 椎名乾平
- 1-4 F E B A モデルの適用について
奈良大学社会学部 西田春彦
- 1-5 あいまいな概念構造とファジィ
製品科学研究所 中村和男

特別セッション2

13:30-16:00 B会場

多元データの分析モデル

多元データの分析モデルの研究の歴史は決して浅くはない。また、今日では、研究者の層も随分厚く、適切なモデルへの需要は大きい。にもかかわらず、現在も一般には「過度に複雑でわかりにくい」として敬遠されたり、うさんくさい目で見られることが多い。この意味では、狭い意味でのアプリケーションやデータの表現方法、新しい概念も開発は、このアルゴリズムのテストの場という側面を含め、多面的に多元データを分析する機会としたい。発表者の多元的意識や目標が統一され、逆さまの視点から多目的な分析の方向が提起されていること、（潜在的な）ユーザーが何を望んでいるのか、今後の展望が多少とも開けてくることを期待したい。

- 企画者 名古屋大学教育学部 村上隆
座長 大学入試センター 岩坪秀一
- 2-1 層別多変量データの分解と解析について
筑波大学経営システム科学 吉澤正
- 2-2 多元非対称データの分析Ⅰ
立教大学社会学部 ○岡太彬訓
多摩大学経営情報学部 今泉忠
- 2-3 多元非対称データの分析Ⅱ
多摩大学経営情報学部 ○今泉忠
立教大学社会学部 岡太彬訓
- 2-4 三相主成分分析における解析アルゴリズムについて
千葉大学文学部 宮埜壽夫
- 2-5 多元データのオブジェクト表現とその応用
北海道大学文学部 大津起夫
- 2-6 3相データの「因子分析」と個人差の概念
名古屋大学教育学部 村上隆

特別セッション3

13:30-16:00 C会場

交通行動の解明1 (交通現象分析)

「交通」は行動計量にかかわる研究題材の宝庫です。「交通」の研究対象は単なる「移動」から、「生活・活動を、大々く展開して、一方強く制限がもたらす」すべの関連テーマを含め、大きくは、観光レジャー、ショッピングといった余暇活動を支える交通サービス等の、多様な研究が進められています。

前半セッションでは、現在ホットに論じられる交通現象をタイムリーな分析事例とともに紹介し、また、将来的な通信や情報提供技術の進歩と交通行動との関わりについて、幾つかの研究事例をもとに論じます。

企画者
座長

東京工業大学工学部
東京工業大学工学部

屋井鉄雄
森地茂

3-1 実測調査に基づく鉄道通勤旅客の行動分析

東京大学工学部
東京大学工学部

○家田仁
佐野可寸志

3-2 ドライバーの経路選択行動の動的解析

京都大学工学部
京都大学工学部
京都大学工学部

○内田敬
飯田恭敬
宇野伸宏

3-3 情報提供による駐車場利用行動変化の分析

東京大学工学部
東京大学工学部

○室町泰徳
原田昇

3-4 情報の信頼性を考慮した交通行動分析

東京工業大学工学部
東京工業大学工学部

○兵藤哲朗
森地茂

特別セッション4

13:30-16:00 D会場

行動計量学の普及と教育

行動計量学会のこれまでもの発表の中心は、「手法開発」と「適用例」であつたといつてもよいだろう。もちろん行動計量学、もしくはその基礎ともいふべき、確率論、統計学、データ解析、諸手法の普及や教育という問題を我々は避けて通るわけにはいかない。これは、学問の社会的側面として研究者が考えていかなければいけない重要な問題といえるだろう。

この特別セッションは、理論面・応用面にかかわらず、統計的方法のより深い理解とその教育に関心をもち、メンバーによって企画された、通常の学生などが紹介される。こうした議論の中から、研究上のテーマとして新たなものが生まれてくることを、我々としては期待している。

企画・座長

東京工業大学総合理工学研究科

市川伸一

4-1 モジュール化による統計教育

明治大学

土田昭司

- 4-2 コンピュータと実験計画
防衛大学校 岩崎学
- 4-3 ベイズの定理の水槽表示
新潟大学教育学部 南風原朝和
- 4-4 繰り返し数が異なる場合の分散分析における検定仮説
大学入試センター研究開発部 前川真一
- 4-5 重回帰分析における主観的定理
東京工業大学総合理工学研究科 市川伸一

第3日午前

9月23日(水)

特別セッション5

9:30-12:00 A会場

ファジィデータ解析

このセッションでは、与えられたデータがファジィデータのとときと通常のデータのときとがあるが、これらデータをファジィ概念によって解析する手法を取り扱っている。ファジィ概念は可能性と結びついて、可能性測度、必然性測度などファジィ測度が定義されている。これらは確率測度の一般化であり、主観的データを取り扱うためには必要である。ファジィデータ解析は種々の問題に適用でき、ここではファジィ観測の統計処理、ファジィif-thenルールによるファジィモデリング、可能性分布によるデータ解析、ファジィ積分による評価、ファジィクラスタリングなどが取り扱われている。

企画・座長

大阪府立大学工学部

田中英夫

5-1 ファジィデータの統計的処理

大阪工業大学
大阪工業大学
大阪工業大学

○古殿幸雄
奥田徹示
浅居喜代治

5-2 ファジィモデリングのための探索的データ解析

甲南大学理学部

中森義輝

5-3 正規可能性分布によるデータ解析

大阪府立大学工学部
大阪府立大学工学部

○田中英夫
石淵久生

5-4 Choquet積分による評価構造の階層化

電気通信大学電気通信学部
東京工業大学総合理工学研究科
東京工業大学総合理工学研究科

○室伏俊明
菅野道夫
藤本勝成

5-5 クラスタ分析におけるWishartのモード法と

あるファジィグラフの等価性について
徳島大学工学部

宮本定明

- 7-1 交通アクティビティ調査の実施と実施における問題点
 筑波大学社会学系 ○石田東生
 筑波大学大学院 杉崎直哉
- 7-2 休日買物活動交通パターンの動的特性に関するパネル分析
 山梨大学工学部 ○西井和夫
 山梨大学大学院 弦間重彦
 山梨大学大学院 岡田好裕
- 7-3 開発途上国における交通パネル調査とその分析
 筑波大学 H.S.リダサン
 室蘭工業大学 ○田村亨
 筑波大学 黒川洸
- 7-4 交通行動分析におけるSPデータの利用法
 名古屋大学工学部 森川高行
- 7-5 多種データの複合調査による離散選択モデルの作成
 東京工業大学工学部 ○屋井鉄雄
 東京工業大学工学部 岩倉成志
 東京工業大学工学部 魚谷憲

特別セッション8

9:30-12:00 D会場

家族をめぐる意識と行動

国土・地域計画や都市計画との関係
 族や企業組織と世代間環境の中での生活環境
 J, I ターナーなど、常態化された生活環境の中での生活環境
 的状況の中での生活環境
 のものである。

家族や企業組織と世代間環境の中での生活環境
 J, I ターナーなど、常態化された生活環境の中での生活環境
 的状況の中での生活環境
 のものである。

家族や企業組織と世代間環境の中での生活環境
 J, I ターナーなど、常態化された生活環境の中での生活環境
 的状況の中での生活環境
 のものである。

企画・座長

東京工業大学工学部

肥田野登

- 8-1 居住選好から見た家族、企業組織との関係意識
 東京工業大学工学部 肥田野登
- 8-2 理想の家族関係に関する意識分析 - 身体性と情緒性の連関 -
 (株)富士通システム総研 ○山本実
 東京工業大学工学部 肥田野登
- 8-3 家族における継承意識
 東京工業大学 ○鈴木雅彦
 東京工業大学工学部 肥田野登
- 8-4 女性の生き方の志向と家庭経済
 - 「いい女」像の分析とそれを軸とした家計管理の実態 -
 (株)ニッセイ基礎研究所 栗林敦子
 生活研究部

8-5 家族のライフステージと主婦の環境保全活動参加
 国立環境研究所 青柳みどり

第3日午後

9月23日(水)

セッションV
 統計(2)

13:30-16:30 A会場

- | | | |
|-----|--|----------------------|
| 座長 | 愛知学院大学文学部
J R 東日本安全研究所 | 千野直仁
小笠原春彦 |
| V-1 | Metric and nonmetric Hermitian canonical models
for Asymmetric MDS
Aichi Gakuin University | Naohito Chino |
| V-2 | データ通信選好度のコンジョイント分析
N T T 通信網総合研究所 | 上田徹 |
| V-3 | 位置-散布度型スコアを持つ連関モデルについて
-検出力に関する若干の考察-
神戸女子大学 | 辻谷将明 |
| V-4 | 確率論的展開法のSD法への適用について
金沢大学文学部 | 岡本安晴 |
| V-5 | 単語読みプロセスにおける潜在特性モデル
東京工業大学
総合理工学研究科
九州大学
東京工業大学工学部 | ○植野真臣
吉村宰
繁榊算男 |
| V-6 | 一般項目反応モデルにおけるパラメタの推定方法
東京工業大学工学部
東京工業大学工学部 | ○柴山直
繁榊算男 |
| V-7 | 認知的IRTモデルの提案と実データへの適用
東京工業大学工学部
東京工業大学総合理工学研究科 | ○繁榊算男
植野真臣 |
| V-8 | 一般化ポアソン分布及びポリアーエゲンベルガー分布の
構造パラメタのモデル
J R 東日本安全研究所 | 小笠原春彦 |
| V-9 | 対比較データ解析での巡回多角形の活用
東京理科大学理工学部 | 牧野都治 |

- 10-1 主観モデル論とその応用
- 主観観測モデル理論に基づく感情表現 -
九州工業大学工学部 矢鳴虎夫
- 10-2 数理計画法によるクラス編成の最適化
熊本電波工業高等専門学校 ○森本義広
熊本電波工業高等専門学校 西村俊二
熊本電波工業高等専門学校 河田美樹
九州工業大学工学部 矢鳴虎夫
- 10-3 ファジィ推論を応用した学習感情解析
中川小学校 清水誠一
早稲田大学 ○山下元
国学院高校 津田栄
目黒高校 勝又保雄
- 10-4 コントロールフローの構造化グラフ表現と最適なブレイクポイント
工学院大学 米澤宣義
- 10-5 ハイパーメディアにおける教材分析に基づく探索支援
拓殖大学工学部 ○中村直人
拓殖大学工学部 竹谷誠
- 10-6 ファジィ評定を用いたアンケート項目の順序構造構築法
早稲田大学理工学部 ○松居辰則
拓殖大学工学部 竹谷誠
- 10-7 入試モデルにおける相関係数の不変性
工学院大学 ○高橋静昭
(株)インフォメーションアナリシス 渡邊隆人
(株)インフォメーションアナリシス 大槻善樹
- 10-8 区間回帰分析のデータ解析
東京工業大学 赤堀侃司